

表1. 生育特性¹⁾

場所	品種名	発芽期 (月日)	初期生育 ²⁾ (月日)	絹糸抽出期 (月日)	稈長 (cm)	着雌穂高 (cm)	倒伏 個体率 ³⁾ (%)	すす紋病 ²⁾	ごま葉枯病 ²⁾	根腐病病徴発生率 (%) ⁴⁾		収穫時 熟度	有効雌穂割合 (%)
										収穫前	収穫時		
北見農試 (3か年)	ミリアーノ	5.29	6.9	8.6	255	120	0.1	1.0	1.3	0.0	0.0	糊後黄初	100.0
	KD418	5.30	5.5	8.5	240	106	0.0	1.7	1.4	0.0	0.0	黄熟初期	100.0
十勝牧場 (2か年)	ミリアーノ	5.23	5.4	8.3	242	115	4.7	2.7	1.5	0.0	0.0	黄熟初期	102.5
	KD418	5.25	3.9	8.3	232	103	3.0	4.2	1.0	0.0	0.0	糊後黄初	102.5
農試平均	ミリアーノ	5.26	6.2	8.5	249	118	2.5	1.9	1.4	0.0	0.0	黄熟初期	101.3
	KD418	5.28	4.7	8.4	236	105	1.5	3.0	1.2	0.0	0.0	糊後黄初	101.3
遠軽町 (2か年)	ミリアーノ	6.3	5.5	8.6	215	104	0.7	2.5	2.8	0.0	0.0	糊後黄初	109.0
	KD418	6.6	3.3	8.6	196	90	1.5	3.8	3.3	0.0	0.0	糊後黄初	102.5

1) 場所別の値は北見農試3か年(2018年-2020年)、十勝牧場2か年(2018年-2019年)、遠軽町2か年(2020年-2021年)の平均値。

2020年の十勝牧場は除草剤施用量の誤りのため参考成績として平均値から除いた。

2) 初期生育は1:極不良-9:極良、すす紋病およびごま葉枯病は1:無-9:甚による観察評点。

3) 折損も含み、倒伏または折損がいずれかの品種で発生した年次のみの平均値である。

4) 収穫前は根腐病による萎凋、下垂、倒伏を含む。収穫時は0が健全、1が飴色ないし褐色に変色、2が飴色ないし褐色に変色し、かつ空洞化の発生を認めたとした場合の評点による1および2の合計。

表2. 収量特性

場所	品種名	10a当たり収量 (kg)								乾物率 (%)			乾雌穂 重割合 (%)	乾物中 推定TDN (%)
		生 総重	同左比 (%)	乾物重			同左比 (%)	推定 TDN	同左比 (%)	茎葉	雌穂	総体		
				茎葉	雌穂	総体								
北見農試 (3か年)	ミリアーノ	7033	102	1038	986	2023	106	1442	106	20.3	51.3	28.8	48.7	71.2
	KD418	6911	100	979	932	1910	100	1361	100	19.5	48.9	27.6	48.6	71.3
十勝牧場 (2か年)	ミリアーノ	5441	102	754	883	1637	107	1189	107	20.7	49.8	30.3	54.2	72.8
	KD418	5359	100	692	836	1527	100	1113	100	19.6	46.2	28.5	54.7	72.9
農試平均	ミリアーノ	6237	102	896	935	1830	106	1316	106	20.5	50.6	29.6	51.5	72.0
	KD418	6135	100	836	884	1719	100	1237	100	19.6	47.6	28.1	51.7	72.1
遠軽町 (2か年)	ミリアーノ	5287	115	823	1047	1870	117	1369	117	24.4	54.7	35.3	56.5	73.4
	KD418	4579	100	698	895	1593	100	1166	100	24.0	53.3	34.9	56.6	73.4

注) 推定TDN収量は新得方式(推定TDN=乾物茎葉重×0.582+乾物雌穂重×0.850)で算出した。

表3. 病害抵抗性に関する特性検定試験結果(北農研)

品種名	すす紋病 (1:無~9:甚) ¹⁾						ごま葉枯病 (1:無~9:甚) ²⁾		
	2018		2019		平均	判定	2018	2019	平均
	9/3	判定	9/1	判定			9/21	10/3	
ミリアーノ	3.0	極強	4.5	かなり強	3.8	極強	4.3	4.3	4.3
KD418	6.0	中	6.2	中	6.1	中	5.3	6.0	6.2
ダイハイゲン (基準品種)	7.0	弱	7.7	弱	7.4	弱	8.0	7.0	7.5
39H32 (基準品種)	6.7	中	5.5	中	6.1	中	—	—	—
ピエナ (基準品種)	5.0	強	5.0	強	5.0	強	—	—	—

1)すす紋病抵抗性検定試験は試験区2畦に対し感染源系統1畦を配置し、感染源系統に粉碎罹病葉の懸濁液を接種して感染源とした。すす紋病抵抗性“強”~“弱”の基準品種との比較により“極強”~“極弱”の範囲で判定を示した。

2) ごま葉枯病抵抗性検定試験は直接検定系統に粉碎罹病懸濁液を接種した。相対評価のため、ごま葉枯病抵抗性強弱の判定はない。「39H32」および「ピエナ」は供試していない。

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。

道総研北見農業試験場 研究部

馬鈴しょ牧草グループ 飯田憲司

電話 0157-47-2633 FAX 0157-47-2774

E-mail iida-kenzi@hro.or.jp